

## エジプト ブドウの出荷が早い

FreshPlaza 2023年5月19日

エジプトでは、昨年より1か月早く、約10日前に生食用ブドウの出荷シーズンが始まった。これはエジプトの輸出業者らにとっての商業的機会となるが、出荷量も直接的な影響を受ける。エジプトでブドウ生産のコンサルタントを務めるサーレム・ゴーニム氏がこの状況について述べる。(以下「」は同氏の発言)

「エジプトは他のすべての国と同様に気候の変動に直面している。今年は暑かったため、ブドウの出荷シーズンが早くなったが、栽培面積当たり及び果樹本数あたりの収穫量は減少した。この減少は約20～30%である。1フェダン(0.42ヘクタール)当たりの収量は通常約10トンだが、今年は約7トンである。」

「しかし、品質の面では変わらない。エジプト産は大変素晴らしい味と外観の点で優れており、今シーズンも例外ではない。」

ゴーニム氏によると、早期の市場出荷は絶好のビジネスチャンスを意味している。「これは主要な競争相手の1つであるスペインより1か月早く市場に出荷するためだ。それによってヨーロッパ市場での立場が良くなり、北アフリカなど、通常はスペインから調達している他の市場にも出荷することができる。」

同氏によると、エジプトの生産者は主にヨーロッパをターゲットにしているが、東アジアや一部のアフリカ市場及びアラブ市場、さらにロシアにも出荷している。「スペイン以外の我々の主な競争相手は、米国への輸出がうまくいかない場合にヨーロッパに出荷するチリと、白ブドウで我々と競合するインドである。」

ゴーニム氏は、ロシア市場も今年大きな需要があると言う。「ロシアの需要はすべての品種と色をカバーしており、非常に堅調で、成長している。この傾向が続けば、ロシアはヨーロッパさえ追い越して我々の最大の市場になる可能性がある。」

収穫量は減少したが、輸出業者は需要を満たすことができるだろうとゴーニム氏は保証する。「エジプトの生食用ブドウ出荷量の10～15%しか輸出されていないことに留意する必要がある。これはいかなる需要にも対応する余地と能力が十分にあるということだ。また、今年の収穫はまだ終わっていない。」

最後に、価格について、ゴーニム氏は次のように述べている。「今年は価格がかなり良い。しかし、生産者はこれについてあまり発言権がない。価格を設定するのは輸出業者であり、時として輸出価格が上がっても農場出荷価格が変わらない場合もある。」

執筆者: ユーネス・ベンサイド